

Y010

- T : はい、はい。
お久しぶりです。
【T】です。
- I : あ、お久しぶりです。
よろしくをお願いします。
- T : お願いします。
【I】さんですね。
- I : はい、そうです。
- T : ほんとに1年ぶりで、はい。
- I : ね。
早いですね。
- T : 早いですね。
今日はどうもあったかいんですが、いつも、あの、さ、【地名1】のほうは、こんなあれですか？。
- I : あ…
- T : 今日は特別ですか？。
- I : あ、そう。
今日は特別。
- T : はい。
- I : うん。
昨日はすごい風が吹いたから、それで今日は…
- T : そうですか〈はい {笑}〉。
わかりました。
- I : とっても寒いですよ。
- T : そうですよね〈うん〉。
【地名1】は寒いと思って来たんですけど。
- I : はい。
- T : はい。
とても***で、はい。
- I : ねー、今日は〈はい〉、お日さまができましたから、出たからね。
- T : そうですよね。
- I : あったかい。
- T : あの、わたし、ここの、あの、建物、初めてなんですけれども、ここはいつごろできたんですか？。
- I : これはね、2、うんと、1年前です。
- T : 1年前〈はい〉。
あ、そうですか〈はい〉。
ここにはどんなた、あの、教室があるとか、ちょっと、説明をして、あの、少し教えていただけますか？。
- I : うん。
コンテナで〈はい〉教室が、に、なったから〈はいはい〉、と、リフォームをして〈ええ〉、で、それは、えーと、教室に使ってるんだね。
- T : はい〈うん〉。
え、コンテナだったんですか？。
- I : コンテナです。
あ、こ、こっちはなくて、隣のコンテナ〈はい、はいはい〉。
ねー、うん。
こちらは〈はい〉、えーと、6年生から〈はい〉高校生までのクラスができましたんです。
- T : 6年から高校生〈はい〉。
そうですか〈はい〉。
いくつあるんですか？。
- I : んーと、3、3部屋。
うん、3部屋です、はい。

Y010

- T: そうですね、はい。
ちよ…
- I: コンテナ、コンテナ以外だね。
- T: あ、コンテナ以外ね。
- I: はい。
- T: はい、そうですね。
素敵ですね、新しく気持ちいいし。
- I: 気持ちはね {笑}, うん。
- T: ちょっと、ここの校舎での授業を、例えば、じゃ、えー、6年生の授業を、どんなふうになってるか教えていただけますか、時間割というか？。
- I: あー〈はい〉、と、毎日がね、6時間目がある、ね〈はい〉。
と、算数、理科、社会、算数じゃない、なんだっけ、と、数学かな〈はい〉、数学だねになるんだね〈うん、うんうんうん〉、数学、理科、社会〈うん〉、あとは生活も〈はい〉、えーと、美術〈うん〉、ね、いろいろながあるから、あ、日本語〈はいはい〉 {笑}, ポルトガル語ね〈うーん〉、英語も。
いろいろな。
- T: あ、そうですね。
- I: うん。
朝の8時15分から〈はい〉、3時半まで勉強してるから〈はい〉、いろいろな勉強ができる。
- T: いいですね。
- I: 交流もときどきがあるから〈はい〉、そりゃ、もう〈はい〉、楽しみ、覚えてる。
いろいろなことが覚えてる。
- T: ほーほーほーほー〈うん〉。
その交流っていうのは、例えば、最近やった、面白い交流って、どんなのがあるんですか？。
- I: あ、【学校名1】大学の〈ふーん〉。
と、【学校名1】大学と〈はい〉、えーと、交流しました〈はい〉。
【施設名1】に、えーと、部屋借りて〈うん〉、ダンスとか〈うん〉 会話とか〈うん〉、えーと、遊び。
- T: うん。
- I: うん。
いろいろなことが、楽しいことがやってから…
- T: うん。
- I: うん。
みんな喜びましたよ。
- T: いいですね。
- I: いい交換、アイデア交換とか〈ほーほーほー〉、ね、うん。
- T: ずっと続いている人もいますか？。
それをきっかけにして、長く続いているようなグループも。
それはないですか？。
- I: あるよ。
3年ずっとやってる。
- T: ほー〈うん〉。
いいですね〈うん〉。
【学校名1】大と。
- I: そうです。
- T: なるほどね。
で、【I】さんの、その、お休みの日の1日って、あの、どんなふうになってるんです？。
朝起きてから。
- I: おやさ…
- T: 学校の仕事がない日はどんな1日ですか？。
- I: あー、うちの息子は、お兄ちゃんと、あ、えーと、長男と〈はい〉次男が、えーと、サッカークラブに入ってるから〈はい〉、いつもが、仕事、い、ないときはサッカー場において〈はい〉、試合を見る {笑}。

Y010

- T : そうですか。
今もずっとやってらっしゃるんですね。
- I : はい。
あたしもサッカー大好きだから。
- T : そうですか〈はい、はい〉。
サッカーの楽しいっていうか、魅力ってなんですか？。
サッカー好きだからって仰ったんですけど。
魅力はなんですか？。
- I : あー。
なんで楽しい？。
- T : うん〈あー〉。
いい点っていうか。
- I : いろいろな人があって〈はい〉、お話もできる〈はい〉。
と、いろいろなところも行って、ね、んーと、みんな仲良く〈うん〉、なんだっけ、サポートもしますから
{笑}〈はい〉、みんな戦い、ゴールとか{笑}、それもやるので、うん、楽しい。
- T : あー、なるほどね。
- I : うん、そう。
日本人と〈うん〉ブラジル人〈うん〉、いろいろな国の人もいるから…
- T : ふーん。
- I : うん。
みんな一緒に食べる〈はい〉、お話する〈うーん〉、ね、うん。
かつ [勝つ] とかつ [勝つ]、勝つときはみな嬉しい〈ふーん〉。
勝たないは〈うん〉負けるはみんな悲しい、一緒。
- T : うん。
- I : うん。
気持ちが一緒だから〈はー〉、だから楽しい。
- T : 交流ができるって意味ですね。
- I : できる。
- T : 心のね〈はい〉、こう、ふれ合い。
いいですね。
あ、そうですか〈うん〉。
サッカーね。
お兄ちゃんが、その、サッカーに魅かれているというか、どういうところですか？。
- I : お兄ちゃんはね〈うん〉、今度の4月がね〈うん〉、高校生になるから〈はい〉、と、サッカーからが、高校
が呼ぶ、ありましたので。
- T : へー〈はい〉。
そうですか。
- I : うん。
とても…
- T : それはいいですね。
- I : うん。
勉強も頑張ってるんだけど〈はいはい〉、ね、うん、でも、楽しいほうに行ってるから。
- T : そうですか〈うん〉。
あの、じゃ、試合なんかも、よくテレビとかでもご覧になりますか？。
- I : うん。
ときどきだけ〈うん〉。
大きな試合のときは〈はい〉【企業名】が出る。
- T : あ、それ、お兄ちゃんたちのね。
- I : そう、そう。
- T : それ以外に例えば…

Y010

- I : あ, 弟も…
- T : オリンピックとか, ワールドカップとか見ますね。
- I : あー, オリンピックか。
あー, 見ます, 見ます。
- T : あの, 日本のサッカーとブラジルのサッカーと, ちょっと違うように思うんですけど (はい), やり方って
いうか, こう, 攻め方っていうか。
- I : あー, サッカーね。
- T : ちょっと, そのへんを, 意見を教えてください。
- I : と, 日本のサッカーはね (ええ), テクニクがす, 強い。
- T : ん?。
- I : テクニク。
なんだっけ, えーと…
- T : テクニク?。
- I : そう。
なんだっけ (はい)。
テクニク。
- T : あ, テクニックね。
- I : テクニク (はい)。
あ, そう, テ, 発音ごめんね。
- T : いえいえいえ, うん。
- I : テクニックが (うん) すごいいいんだけど, でも, えーと, もうちょっとが (うん), 一人ひとりが, 自分
の気持ちか, それが入れて (うん), 自分のスタイルが作って, 自分のスタイルでもみんなにいわせるから,
合わせるから (うん), いいチームになる。
- T : ほう (うん)。
みんなにあ…
- I : ブラジルは…
- T : はい。
- I : うん。
生まれたときは, みんなサッカーが当たり前ことみたいだね。
- T : うん, はい。
- I : うん。
だから (はい), 自分のスタイルを作る。
自分の頭の考えるかたも (うん), 作るんだね。
- T : はいはい。
- I : うーん。
日本人は, うーんと, 最近だけ (はい), ね, サッカーが入ってるから (ええ, ええ), それか, まだイメ
ージができてないみたいなんです (ほう)。
えーと, 例えば (うん) テクニックが (うん) 本からとか (ふーん), ほかのチームが, もう, 見るから,
それが見本にしてやるんだね (はい)。
でも, 自分の気持ちも, で, できれば, それ, もっと楽しくなる。
- T : ほう。
- I : 日本はテクニクは上手いけど, もうちょっと自分を出してない。
- I : そうそうそうそう。
ちょっと, えんちよ, えんぎよ, かな。
- T : ほう。
- I : うーん。
えんぎよかな。
- T : ほう (そうそうそう), なるほどね (うん, うん)。
で, 見てておもしろいのは, やっぱブラジルサッカーですか?。
- I : あ, ブラジルのサッカーだけじゃなくて, ***…

Y010

- T: いやいや。
サッカーの場合は、日本のサッカーより、ブラジルの人やるサッカーのほう、やっぱり、面白いですかね？
自分が出ていて。
- I: あ、楽しむ。
そうそうそう〈は一〉。
楽しく見えるから。
- T: なるほど。
- I: 日本のサッカーが正しく、厳しく {笑}。
- T: 厳しい。
- I: 厳しいです〈は一〉。
監督が、わたしはみ、外で見るから〈うーん〉、厳しいみたいんです。
- T: ふーん。
なるほど。
それって、なんか、日本の教育にもつながりませんか、サッカーだけじゃなくて？。
なんか、正しいことが大事、みたいな。
- I: そう。
会社がね。
- T: ん？。
- I: か、会社の…
- T: 会社も。
- I: うん、会社の。
でも、それは〈はい〉、もう、必要ですよ。
- T: そうですか。
- I: ね。
うん、そう。
- T: でも、やっぱり、ブラジルみた…
- I: でもバランスがあれば、ね。
- T: あー。
じゃ、ブラジルも、ちょっと、なんか問題はありますか？。
自分を出すけども、やっぱり、バランスはうまくとれてる。
- I: のーだね〈うん〉。
それも難しいわね、考え方ね。
- T: うーん〈うーん〉。
なるほどね。
そうですか。
面白いですね、いろいろ違ってね。
- I: 面白い。
- T: じゃ、その、ブラジルと日本ですけども、なんか、すごく違って、大変だなんて思ったことってありますか？。
日本の社会の特殊性みた、特殊な点みたいな。
- I: 大変だね。
えーと、一番大変はね、うーん、ふんふんふんふん、一番大変はね、例えば〈はい〉、2年生までは〈はい〉、小学2年生までの子どもが〈はい〉見られるんだけど〈はい〉、そのあとが、お母さんが、勉強が、一緒にができないんです〈ふーん〉。
ね。
それは、ちょっと難しい。
- T: ん？。
それは、えーと…
- I: あとは〈はい〉、えーと、なんだっけ、教えることも、あたしたちは、で、んーと、なんだっけ、…

Y010

- T: あ、それは、だから、日本人と〈はい〉ブラジルの人の違いじゃなくて…
- I: あ、わかりました。
- T: はいはいはい。
- I: あー。
一番違いはね〈はい〉、うん、どうだね。
一番違うはですね〈はい〉、わたしはこちらにいらしゃる、17年だから〈はい〉、だいたい、なんか…
- T: もう慣れてしまっ…
それは違う。
- I: 慣れてるんだけど、でもショックはね、うーん、どうだね。
うーん。
一番違うは〈はい〉、なんだっけ、やっぱりが、仕事のことかな。
- T: もうちょっと詳しく教えてください、そのことを。
仕事で、どんな点ですか？
- I: あー、えっと、なんだっけ。
仕事のことね、うーん、なんだっけ。
先輩と後輩があるでしょ〈はい、はい〉。
それはすごく厳しい。
- T: うん。
- I: うん。
それは〈うーん〉きついかもしれないんだね。
- T: はー。
- I: うん。
いじめもあるから。
- T: あー、なるほど。
- I: それは学校から、もう、なんだっけ、見れる〈うん〉、ね、後輩と先輩がね。
それは、ちょっと、あ、違う。
- T: あんまり後輩、先輩っていうのがないほうがいいですか？
- I: うん。
あまり、ほうがいいです〈ふーん〉ね。
そう。
ね〈うん〉。
その、***、その、なんだっけ、れ、レベルじゃなくて、イメージは違うわね。
みんな人間だから。
- T: あー、はーはーはー。
- I: ね、うん。
- T: でも、いじめがなかったらいいですよ。
先輩が後輩を〈うん〉教えたり、大事にして。
- I: そう。
- T: それが少ないですか。
- I: コミュニケーションがあれば〈はい〉いいんだけど〈ええ〉、でも上からな、の、これでは、ちょっとな。
- T: はー、そんな感じがしますか〈うん〉。
なるほど。
じゃ、さっき、あの、仰った、えーと、2年生ぐらいになると、あの、えーと、ブラジルの方はちょっと難しいってことですか、勉強が、さっきお話になりかけたのは？
- I: あー…
- T: それ、どうぞ、続けてみてください。
- I: それはね、あ〈はい〉、それはね〈ええ〉、えーと、あたしはね〈はい〉ブラジルに勉強しただけど〈はい〉、日本のルールが分からないから〈うんうんうん〉。
あとは、例えば漢字と〈うん〉カタカナ、ひらがなの〈はい〉書き順もあんまりできないので〈うん〉、ときどきは適当にやるんだね〈うん〉。

Y010

絵みたい，あたし，書くだね〈うん〉。

ほんとに文字じゃなくて絵〈はい〉。

見るが書くだね〈あー〉。

書き順がかんげないの〈はい，はい〉ときが〈はい〉あるから，教えるときは，それはまずいでしょ〈うん〉，ね。

子どもが，ほんとには，と，正しく〈うん〉書き順とか，それが覚えたほうが〈うんうんうんうん〉いいんだから，教えることはできないんです〈ふーん〉，ねー。

T： それは，どんなふうにして，えーと，こう，サポートなさったんですか？。

I： サポートはね〈うん〉，やっぱり学校のほうが〈ふんふんふん〉いて，と，先生と話してから〈ふーん〉，じゅーく〔塾〕に入れて〈あー〉，あと，お友だちも，ね，手伝って。

T： うん〈うん〉。

なるほどね〈{笑}〉。

あー，いいですね。

で，あの，さっき，あの，前の校舎に行きましたよね〈はい〉。

前の校舎からここまでは歩くとどのぐらいですか？。

I： 歩くは15分です。

T： 15分ぐらいですか〈はい〉。

えっと，どんなふうに来るか，ちょっと道順を教えてくださいませんか？。

もし歩いて，ここから古い校舎に戻るとしたら，どんなふうに行くか，ちょっと，教えてください。

こう，門を出て…

I： あ，門を出て〈はい，はい〉，と，左曲がって〈はい〉，えーと，左のほうが〈はい〉ガソリンスタンドがあるから〈はい〉，右に曲がって〈はい〉，と，それから，えーと，50メートルが，信号がある〈はい〉。

信号わたってまっすぐ行って〈はい〉，左のほうに【施設名2】〈ほー〉があるから〈はい〉，あの，公園だね〈はい〉，それは，もう，まっすぐ行って，あとはまた信号があるから〈うん〉，その信号わたって，またまっすぐ行って，【地名2】があるから渡るんだね〈はい〉。

そのあとが，まっすぐ行って，えーと，まっすぐ行って，公園があったら〈はい〉，次の左〈うん〉曲がって〈はい〉，おんしゃが{笑}ある。

T： あー。

分かりました。

行けそうです，はい。

一人で帰れます。

I： うん，うん。

まっすぐ行けば〈はい〉，ね。

T： なるほど。

I： こっちからあっちまで5分。

T： わかりました。

はい。

あの，向こうとここで，あの，どうですか？。

やっぱ，こっちのほうが快適ですか？。

勉強しやすい？。

I： あ，こちらは，とー，なんだっけ，5年，あ，6年生から…

T： 6年生から，はい。

I： 6年生から高校生までがね〈ええ〉，ちょっとシステムが違うんだね。

T： ちょっと，それ，どう違うか教えてください。

I： あ，とー，あちらのほうは，幼稚園児から〈はい〉5年生まで〈はい〉，先生が，1人が2人が，1日が見れるんだけど〈はいはい〉，一クラス〔ひとクラス〕が見れるんだけど〈はい〉，こちらが〈はい〉いろいろな先生が必要です〈はー〉，ね。

T： はいはいはい〈うん〉。

なるほど。

そこが違う。

Y010

- I : うん。
- T : ですね。
- I : あと、遊びも違う〈ふーん〉。
あちらのほうは狭いから…
- T : そうですね。
- I : うん、あんまりが〈うーん〉遊び、外の遊びができないんだけど〈はいはい、はい〉、こちらは…
- T : いいですね。
- I : とても広いし〈はい〉、あとはフットサルコートもあるから〈はい〉、みんな喜ぶ。
- T : でも、これだけ広い場所があるんだったら、もっと、小さい人のほうが、こっちでもいいんじゃないですか？
- I : そう。
逆のほうがいいんだけど {笑}。
- T : ねー。
どうしてそれが反対なんでしょう？
- I : と、最初は〈はい〉、と、なんだっけ、リフォームができなかったから〈はい〉、ね、えーと、子どもに安全があまりないので〈はい〉、危ないところもいたから〈はい〉、例えばトラックとか〈はい〉、じゃー、できたら、全部できたら、みんなが〈ふーん〉引越すする。
- T : あ、いいですね。
- I : たぶんが、来年かもしれないです。
- T : あー、すばらしいですね。
- I : これから準備です。
- T : もう、すばらしいですね。
どんどん発展してね。
- I : ねー。
良かった。
- T : でも…
- I : たいへんだけど。
- T : いやいや、すばらしい。
でも世の中では、いま、あの、派遣切りとかね、正社員でもみんな、解雇、クビになって〈うーん〉、いろいろありますよね。
- I : そうですよ。
- T : で、先週のテレビでも、【地名3】県の学校で、学生がすごく減ったってあったんですけど〈はい〉、ここは、そういうことはないんですね、じゃ？
- I : うん。
おかげさまで、まだないんです。
- T : それはなにか…
- I : そう、ちょっと、えー…
- T : 理由があれですか？
- I : そうだね〈はい〉。
んーと、みんな信用してるから〈はい〉、こちらの学校にまだ続けてるので。
- T : うん〈うん〉。
あ、学生さんは、そういう、ま、信頼関係ですけど、この【地名1】では、その派遣切りみたいなものはないですか、あんまり？
- I : あるんだけど〈あー〉、でも、みんな、お父さんとおたあ、お母さんたち〈はい〉、あ、生徒のお父さんとお母さんたちがね〈はい〉、真面目な人と、あとは、ほんとには、子どもの勉強が大事だから〈ふーん〉、きつんだけど、できるまでが学校に…
- T : ふーん。
すばら、すごい。
- I : 行けばいいんです {笑}。
- T : で、仕事なくなった人も、結構いるんですか？

Y010

- I : うん, います (は一)。
でも, えー, 給料ももらわない, もらえないときは, 学校と話して, どうすればいいですか, ね (ふーん),
ローンもできるから, ね, 必ずが, とりあえずできるまでが…
- T : うんうんうん。
- I : うん。
それが続ける。
- T : なるほどね。
- I : ほんとには, 駄目になったら (はい), もう, もしあげないんだね。
- T : ほーほー。
で (うん), あの, そういうね, あの, ここのような学校の場合, いいですけど, そうじゃないところもあり
ますよね。
町で, 町で, どんなサポートシステムをた, したら, いいんでしょうね (うーん)。
仕事がなくなった, ね。
- I : そうだね。
- T : どんなことが考えられますか?。
- I : そう。
役場から (はい), 誰かね (はい), えーと, 会社を見つけて (はい), なんか, 紹介 (はい), とかね (ふ
ーん)。
それは, ありがたいので {笑}。
- T : そうですね。
- I : 紹介すれば, ね。
- T : ふーん。
そうですね。
- I : うーん。
あと, ほんとにはね (うん), 仕事ない人が (うん), と, 仕事みつかるまでは, 時間がかかるでしょ (は
い)。
んーと, できる, できれば (うん), 例えば, んーと, お勉強も (はい) させたほうがいいのかな (うん)。
例えば, 日本語の勉強とか (ふんふん), あとは, なんだっけ, ふーんと, 専門の勉強 (はいはい), 例え
ば, なんだっけ, あれは, んーと, ハンダとか, ハンダをする人, いろいろな…
- T : そうですね。
- I : うん。
そう。
- T : ね。
いま, その, 仕事がないときこそね, サポートして (うん), そういうのやるといいですよ。
- I : うん。
そう (はい)。
勉強のかわ, を, 仕事の代わりが (はいはい), ちょっと勉強。
- T : そうですね。
- I : 勉強して, サポート。
- T : うん。
思います, はい。
で, その, 町役場というか, 【地名1】なんですけど, なんか, 合併をするという話を, ちょっと, い, ホ
ームページで見たんですけど, 【地名4】と合併をするという (あー, はいはいはい)。
あれについてはどうお考えですか?。
- I : たぶんが2010年からかな。
- T : はい。
2012年かなんかですよ (うん)。
なんか, それは…
- I : 町が, もうちょっと大きくなるかもしれないんだね。
- T : それはどうお考えですか?。

Y010

- I : あー。
それはいいかもしれない。
- T : どうしてでしょうか？
- I : と、役場が、一人で、ちっさく見えるから〈うん〉、ね、どー、合体したら、いろいろな人も見れるので〈うん〉、ね、たぶんがそれは〈うーん〉、いいかもしれないんだね、うん。
- T : でも【地名4】が大きくて、せっかく【地名1】が、とても、こう、いい形でやっているのに、ただ合併しちゃうと、カラー、せ、特徴がなくな、薄くなりませんか？
- I : うーん、どうだね〈うーん〉。
今までの〈はい〉【地名1】の仕事がつく、町が作ってるから〈はい〉、それが、【地名4】が見れる〈うん〉、それは、もう、一緒に〈うん〉、なんだっけ〈うん〉、もうちょっとおつきくなる〈ほー〉、ね。
それは、もう、大事にして〈うん〉、今までが、ね〈はい〉、はい、お世話さまでした〈うん〉、これからが一緒に〈うん〉、もう〈うんうん〉、自分たちの力と自分たちの考えると一緒に合わせて、みんなにいいことが〈うーん〉、今まででいいことができたら〈うん、うん〉、みんなにも広げる。
***。
- T : あー。
なるほどね。
そうすると、やっぱり合併することはすごくいいこと？
- I : いいかもしれない。
- T : なるほどね〈うん〉。
わかりました。
うまくいくといいですね。
素晴らしいことですね〈そう〉、学校も大きくなって、町も大きくなって〈ね〉。
そうですか。
じゃ、【地名1】は今回のこの金融危機というか経済危機でも、あまり変わってないですか？
ま、派遣切りの人もあるけれども、結構、みんな一緒に助け合っ。
- I : んーと〈うん〉、前は〈はい〉ブラジル人を道に歩けば、ブラジル人が多いんだけど、今はあんまりないんです。
- T : あ、じゃ、やっぱり帰っちゃった人もいるってことですか？
- I : 帰っちゃった。
うん、帰っちゃった。
- T : なんか、お店にシャッターが閉まってるのところ、多いように思ったんですけど、やっぱりそうですか？
- I : あ、お店が、うん、お店はまだ閉まってないんですけど…
- T : あ、そうですか？
- I : でも、お客さん、ちょっと薄くなったんだね。
- T : あー、そうですか？
- I : 100円でも、ね、はー、100円に、えー、して、えーと、知り合い人が〈はい〉勤めてるから〈はい〉、ね、お話してから、はー、やっぱりだ、前のほうがお客さんが多いんだね。
これからが〈ふーん〉少ないんだね。
- T : はー〈ふん〉、なるほどね。
そうですか？
はい、いろいろありがとうございました。
- I : いいえ。
- T : ここで、ちょっと、ロールプレイをしたいんですけど〈はい〉、よろしいですか？
- I : はい。
- T : ちょっと、これを読んでいただけますか？
声を出して読んでください。
- I : 友人にお金を貸してくださいと頼まれました。
大変親しい友人ですが、断ってください。
- T : はい。
今ね、あの、ね、あの、ちょっと、仕事もなかったりして、ありますよね〈ね〉。

Y010

とっても親しいお友だち、仲良し〈うん〉、えー、に、えーと、日本人のね〈はい〉。
えーと、わたしは例えば、あの、【T (名前)】というんですけど〈はい〉、【T】さんに頼まれましたけど
〈はい〉、あの、ちょっと、今回は断ってくださいね〈はい、はい {笑}〉。
いいですか？。

I : はい。

T : はい。

じゃ、では、始めましょう。

【I】さん、お願い。

ほんとに悪いんだけど、あの、ちょっとね、1週間で返すから、5万円貸してくれる？。

I : うーん。

そのことはちょっと、うーん〈うーん〉。

事情分かるんだけど〈うーん〉、でも、主人が〈うん〉2か月仕事ないから、そのお金が、あたしは持って
ないんです。

T : あー、【I】さんともそうなんだ〈はい〉。

だけどね、ちょっと、それがあると、あの、子どものね、その、入学が、オッケーなるのね。

あと5万だけ足りなくて。

I : 5万だけ〈うん〉。

じゃ、2回払いでよろしいでしょうか？。

T : 2回払い？。

I : うん。

あたし、その5万は〈うん〉い、いける…

T : あ、貸してくれるの？。

I : うん。

すぐ貸してくれないんだけど〈はーはー〉、もし〈うん〉、良かったら〈うん〉、2万5千円、今は2万5千
円が、来週が2万5千円です〈あ〉。

大丈夫でしょうか？。

間に合いますか？。

T : うーん。

でも、すぐじゃないと無理なんだな。

いっぺんに、い、いま必要なのね。

駄目？。

I : 駄目です〈あー〉。

うちの子も〈あ、あー〉高校の準備があるから、それは。

T : あー〈うん〉。

そうか。

I : 申し訳ないんですけど。

T : でも【I】さんはあるかな。

ご主人はあれだけど、大変だけど、【I】さんはお勤めしてるし、駄目かな。

ごめんね、こんなこと頼んで。

I : うーん。

じゃ、無理しれ、すれば〈うん〉、できるだけ〈うーん〉、ね〈うん〉。

いつが返せますか？。

T : 1週間ぐらい。

I : じゃ、分かりました。

大丈夫ですよ。

T : いいですか？。

I : はい、大丈夫ですよ。

T : はー、ほんと〈はい〉。

わかった。

ありがと。

Y010

じゃ、これでロールプレイ終わりますけど、これは断ってほしかったんですけど{笑}。

I : ん？

T : 断ってほしかったんですけど、最後まで。

I : あ、断ってください。

あ、駄目駄目？

T : {笑} ま、でも大丈夫。

はい、分かりました。

最初はね、断ってらしたけど、ちょっとしつこく…

I : うん、そう。

T : 優しいから、【I】さんは。

わかりました、はい。

あの、今日は、もう、いま何時ですか。

5時半ですね〈はい〉。

これからどうなさいますか？

まだお仕事が。

I : うん。

これからは、学校に戻って〈はい〉、とー、7時までが仕事が頑張りますから。

T : そうですか〈はい〉。

お忙しいところありがとうございました。

I : いいえ、すいませんだな。

T : どうもありがとうございました。